



社会新報 (岡山県連合版)

2016年7月1日

(参院選特集)

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行) 千100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3 法03-3592-7515 1部180円月700円年160

発行責任者 武本恒夫

7月10日投票 期日前投票を!

歴史的な参院選がはじまった。岡山でも政策宣伝カーで、戦争法廃止、アベ暴走政治を止めるため、県内を駆け巡った(25~28日)。

今回の参院選、安倍首相は「争点は経済政策」と訴えています。前回は、「前回、前回」もアベノミクス選挙といいたが特定秘密保護法、安保法制(戦争法)の強行でした。この選挙では、2/3の議席を占めて憲法改正が本丸です。自民党改憲草案には、現行9条の戦争放棄から国防軍保持をうたい、新しく緊急事態

もうその手は通じない



アベ政治の暴走を止める 比例区は社民党 比例代表選挙事務所

党岡山県連合に掲げられた看板



市民団体(おかやまいっほん)・野党3党と統一候補の黒石健太郎出陣式

市民の力強い後押しで実現、野党統一の画期的な戦いに、黒石健太郎候補が、力強く第一声(岡山駅近く、野党共闘・市民の代表も激励/写真提供:Kato Shinpei)

たまたま用事で立ち寄って投票入場券をもってなくても、その場で期日前投票ができます。必ず投票しましょう。

生活・労働の「ひとつ」に目を向けて 「保育園落ちた!日本死ぬ」で焦点の保育・介護士の待遇改善、生涯派遣などの労基法改善、奨学金問題や6人に1人の子どもの貧困率など、格差拡大、生活・雇用破壊の現状も明らかになりました。さらにはTPP・原発再稼働や沖縄基地建設の強行など、

案項なるものが入っています。社民党の福島副党首はその問題点として「内閣が緊急事態を宣言、法律と同じ効力を持つた政令を作る。国会がなくたって、ナチスドイツの全権委任法と同じ」と指摘する。また憲法が権力者を規制する立憲主義から「全て国民は憲法を尊重しなければならぬ」という真逆で「公益及び公の秩序」を優先した個人の権利抑制につながる恐れも指摘されるものです(裏面資料)

参院選で質すべきはアベ政治の暴走です。 一番の争点である改憲勢力2/3以下にするため、比例区は社民党、選挙区は市民・野党統一の黒石健太郎さんの支援を訴えています。 9条改憲を許すのか、平和のあり方を選択する選挙です。あなたもチヨットだけ行動を起こしましょう。 選挙期間中にできること

「新報」読者会 7月12日(第2火)18時 弓之町「時事問題懇話会」 7月15日(第3金)18時 ※聞きたい・話したい人歓迎 いずれも岡山社会文化会館

定例学習・読者会

世 界を激震が走った。イギリス国民がEUからの離脱を選択した。人とモノが国境を自由に往来できる壮大な実験は、この先どこに向うのか? 今回の背景はEU域内の労働者移民が自国民の生活を圧迫しているという不満が台頭、移民排除の動きだ。ヨーロッパ統合は、もともとは2度の大戦の経験から2度と戦争を起こさないとの不戦の誓いからだ。 今回の選択を排外主義につながるため、歴史の経験をつなぐ生かすのか? いま参院選真っ只中、こちらも歴史に逆行の分岐点にある。しかし、どこい民主主義は生きていく。 アベ政権の立憲主義否定、違憲の戦争法強行に危機感を持った市民の立ち上がりだ。全国32の一人区で市民・野党統一が実現したことは画期的だ。この選挙から18歳投票も注目される。あきらめでもなく、若者の新鮮な「新しい判断」こそ期待したい。アベ政治の暴走を止める! 子や孫に誇れる歴史的選挙に。(の